JICA 課題別研修「水災害被害の軽減に向けた対策」の実施支援

総務企画部　金子　祥子

1. JICA 課題別研修について

JICA 課題別研修は、JICA（独立行政法人国際協力機構）が実施する技術協力事業の一つであり、日本国内を研修現場として開発途上国の様々な課題解決を後押しすることを目的としている。当協会は JICA 筑波からの委託を受け、各国の実務レベルの行政官等を対象として「水災害被害の軽減に向けた対策」研修の企画・運営を支援した。この研修は、水災害被害の軽減に資する施策、計画の策定能力の向上を焦点とした研修である。

2. 「水災害被害の軽減に向けた対策」課題別研修

研修の目標

日本の治水・防災に関する施策を学ぶことにより、参加者の水災害被害の軽減に向けた政策の企画立案・実施に関する能力の向上

本邦研修期間：2018 年 5 月 14 日～6 月 9 日

研修員：

ブータン、ブラジル、チリ、北マケドニア、イラン、リベリア、モロッコ、ミャンマー、ペルー、スリランカ、タイ、ベトナム

12 カ国計 12 名

主な研修協力機関：

国土交通省、国土技術政策総合研究所（国総研）、土木研究所、ICHARM、新潟県、三条市、見附市、茨城県境町、防災科学技術研究所（防災科研）、構造計画研究所、富士通、国際航業 他

主な現場視察先：

第 67 回利根川水系連合・総合水防演習、北陸地方整備局、笠堀ダム嵩上げ工事現場、五十嵐川遊水池、芋川流域砂防施設、境町、土木研究所、防災科研 他

日程表（概要）

日時	研修内容	担当機関
5/13	来日	
5/14	オリエンテーション	
5/15	インセプションレポート発表会	
5/16-18	東京周辺での講義・演習	国土交通省
5/19	利根川水防演習	関東地方整備局
5/21-22	PCM 演習	FASID
5/23-25	北陸地方視察	北陸地方整備局、新潟県、三条市、見附市
5/28-29	タウンウォッチング （ハザードマップ作成演習）	下妻市、土木研究所（ICHARM）
5/30-6/1	PC 演習（IFAS、RRI、Common MP）	ICHARM
6/4	企業技術紹介	構造計画研究所、富士通、国際航業
6/5	つくば市での講義・見学	国総研、防災科研
6/6	アクションプラン作成演習	FASID
6/7	アクションプラン発表会	
6/8	閉講式	
6/9	帰国	

研修の概要：

本研修には河川管理、水災害被害の対応に携わる実務レベルの行政官等 12 名が参加した。研修の前半は東京を拠点とし、国土交通省にて河川管理、防災に係る国の政策を中心として、天候の監視や予測の科学技術まで、広範な説明をいただいた。研修員からは多くの質問があった。

現地視察では、北陸地方整備局管内、信濃川流域の河川管理施設や砂防事業現場を中心に訪問し、日

本の河川管理、防災対策事業を見学した。北陸地方整備局では、当地の近年の水害や水防災対策の現状について講義があった。その後、堤防整備と公園整備を組み合わせた対策事例として「やすらぎ堤」や鳥屋野潟排水機場を視察した。翌日は新潟県による笠堀ダムの嵩上げ工事や五十嵐川遊水池の現場を視察した。芋川流域砂防事業の現場も視察でき、研修員には良い経験となった。これらの視察に加え、防災意識の高い自治体である三条市、見附市にも訪問し、防災施策についての講義や災害対策施設での説明を受けた。いずれの訪問先でも活発な質疑応答が行われ、充実した視察となった。

その後研修拠点を筑波に移し、研究所の多い立地環境を生かして、防災技術や雨量や水量予測技術について知見を広めた。

境町では、タウンウォッチング（ハザードマップ作成演習）が 2 日間に渡り行われた。研修員は町の防災対策について講義を受けた後、グループに分かれ実際に町内を見学し、それぞれのグループでハザードマップを作成し発表した。境町職員に加え、被災時に活動した自治会メンバーも町内見学にも同行くださり、研修員の質問に都度応じてくださった。

ICHARM では、パソコンを研修員に支給し、IFAS や RRI といったモデルを実際に作動させた。特に RRI を使って、境町の被災データを活用しシミュレーション演習を行った。JICA 筑波では、企業（構造計画研究所、富士通、国際航業）の技術紹介を行った。また、防災科研では衛星データを使った最新の観測技術等について講義いただいた。

最後に研修員は各国で実施するアクションプランを作成した。今後、アクションプランの実施と共に、研修の成果を大いに発揮した自国での活動に期待したい。

3. おわりに

本研修の趣旨をご理解いただき、各機関より講義・視察にご協力いただいた。ここに深く謝意を表したい。参加研修員には、本研修を通じて、技術的な側面だけでなく、日本の文化や生活にも親しみをもっていただいた。今後、我が国との関係を構築・維持していく上でのキーパーソンとなっていただくことを期待したい。

芋川流域砂防事業視察

（2018 年 5 月 25 日、新潟県）

タウンウォッチング

（2018 年 5 月 29 日、茨城県境町）

防災科学技術研究所

（2018 年 6 月 5 日、茨城県つくば市）

本文は、平成 30 年度に実施した課題別研修「水災害被害の軽減に向けた対策」の結果に基づいて取りまとめたものである。